



TITLE:

天界新知識

AUTHOR(S):

CITATION:

天界新知識. 天界 1934, 15(163): 15-16

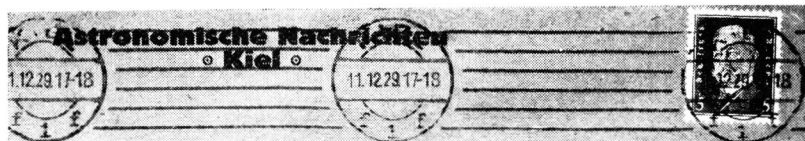
ISSUE DATE:

1934-10-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/166909>

RIGHT:



天 界 新 知 識

太 陽 研 究 の 新 聯 盟

米國の元キルソン山天文臺長 G. E. Hale 博士が分光太陽寫眞儀を發明したのは1892年のことであつて、爾來各地の天文臺が此の器械を使用して太陽の單光寫眞を撮影してゐることは衆知の事實であるし、我が日本でも、花山(大型)と三鷹(小型)と兩天文臺が數年前から此の種の觀測を續けてゐる。しかるに、ヘール博士は1930年頃より此の分光太陽寫眞儀を更に考案し直して、Spectroheliograph 分光太陽鏡といふ新式の器械を發明し、之れを世界各國の天文臺に使用せしめて、太陽面の單光觀測網を完成せんと勤めてゐる。(天界第159號第349頁參照)米國よりの近着報によると、ヘール氏の此の計畫に参加して分光太陽鏡を設備した天文臺は下記の通りである。

英 國	グリニチ天文臺	米國	ロサンゲレス市	Griffith プラネタリウム
同	ケンブリヂ大學	同	同 市外	キルソン山天文臺
ス キ ス	チウリヒ大學	同	同 同	ボモナ大學
伊 國	フィレンチエ天文臺	同	南ダコタ州立大學	Vermillion 市
シ リ ヤ	Beirut 大學	同	同	ヤルキース天文臺
印 度	コダイカナル天文臺	同	シカゴ市	Adler プラネタリウム
濠 州	Watheroo 地磁氣學院	同	オハヨ州	コロパス市州立大學
同	カンベラ觀測所	南米	ペルー	Huancayo 地磁氣學院
支 那	南京天文臺	同	費府	フランクリン學院
ニウジールランド	エリントン天文臺	同	ボキブシ市	ザサー女子大學
サモア	アビヤ觀測所	同	ケンブリジ市	マサチュ州工業學院

尙ほ此の他、ギリシヤ國アテンス天文臺と、南米と南阿に一ヶ所づゝ設置される豫想であるから、此の全世界聯盟は實に大仕掛けのものであることは喜ばしい。しかし、例により、東洋方面は支那の南京只一つであつて、我が日本には全く何も豫想されてゐないのは遺憾至極である。

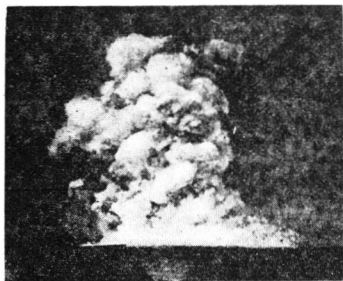
英 國 で の 24 時 制

一昨年頃から保守主義の英國內にも漸く24時制の採用に関する議論がやかましくなり、議會で度々論議されたのみならず、諸所の學界や社交界でもだん々之れをマジメに注意し、又は賛意を表するに至つたので、大英放送協會 British Broadcasting Company では去四月22日から試験的に總ての放送プロを此の24時制によつて實行し、一般社會人士の反響如何を見ることとしたことは本誌にも報じた所である(天界第158號第281頁)。此の放送局の試験は一應去ス八月18日に終つたが、結局、社會の輿論は

賛否何れとも決定するに至らないといふ。英國上院では今年初以来二度も此の問題に關して討論が行はれ、去る七月27日には Lord Tempelmore 氏が政府のために、12時制繼續の外なきを説いたといふ。かくて、1919年以来 Lord Stonehaven 委員會の推薦あるに拘らず、英國民は今尚ほ24時制を公然採用するに至らない有様である。

奇 島 Bogoslav の 出 沒

北太平洋のアレウシヤン Aleutian 列島の一部に、ロシア人が始め Bogoslav と命名した火山島がある。此の島は1768年に始めて洋上に現はれ、航海者は俗に之れを Ship Rock と呼んでゐる。それから、1798年にも噴火して一巖が現はれたが、1883年には



ボゴスラヴ島の噴火

隣りの Gregwink 島に近く New Bogoslav 島が出来、次いで1888年には元の Bogoslav 島が波の下に沈んだといふ。1899年には此の邊一帶に大地震があつて、一時、全部の島影を水中に没したが、其の後も度々變化があつた。1907年九月1日には其の中の McCulloch Peak といふのが噴火して80km離れた Unalaska 村に泥土や土塊や灰を降らして恐怖を與へたが、1910年にも亦一回噴火があつた。1927年に米國ハワイの火山學者 T. A. Jaggar 博士が視察した時は、

之れは單に砂原に水蒸氣を吐くのを見た。氏は亦、中央に鹽水の湖を見た、其の湖の水は70°Fの溫度であつたといふ。去る1934年八月末、Bernard Hubbard 師は Einar Olsen 氏を船長とする船 Amelie に乗つて此の邊を探險し、又々活潑なる噴火の模様を見た。之れと同時に、去る1927年に海岸監視船 Northland 號が此の島を測定して置いた位置が、南へ4哩、東へ1哩偏してゐることを知つたといふ。

新 元 素 の 是 非 論

本誌第162號口繪に掲げた通りイタリヤ國の Fermi 氏は今年初め頃、ウラニウムに中性素 neutron を衝擊せしめて、原子番號93といふ新元素を發見したと發表し、學界に一大センセーションを起したことがある。此の新元素は半生が13分時であると定められた。

ところが、今1934年の夏チエコスロバキヤ國 Joachimstal 市の國立ウラニウム・ラヂウム研究所の所長 Odolen Koblic 博士はピチブレンドといふ礦石の中から、之れ又、原子番號93といふ新元素を發見したと公表したので、社會は驚いた。コプリク博士は此の元素を Bohemium ボヘミウムと命名した。

この二人の發見した新元素が結局同じものであるか否か、今年の學界を賑はす問題であるが、Fermi 氏は Koblic 氏の“Bohemium”が畢竟タンゲステンであると言てゐる。

こゝに米國シカゴ大學の A. V. Grosse 及び M. Agruss 兩教授は共に化學者であるが、前記 Fermi 氏の新元素に疑ひを持ち、種々實驗研究の結果、遂に原子番號91の Protoactinium の一種の同位素が Fermi 氏のものと同じものであることを證明した由、Physical Review 誌上に公表してゐる。